

## 50周年記念会長企画 群馬大学医学部附属病院の高気圧酸素治療

渡辺久志<sup>1)</sup> 後藤文夫<sup>2)</sup>

- |    |               |
|----|---------------|
| 1) | 元附属病院 臨床工学技士  |
| 2) | 元高圧酸素室長 麻酔科教授 |

群馬大学医学部附属病院に高気圧酸素治療装置が設置されてから48年となる。東京大学医学部附属病院での爆発事故後、当時としては異例となる内陸部の群学に大型チャンバーが設置された。第50回の記念すべき総会にあたり、開催校での高気圧酸素治療の歴史に関して、開設当初から本業務に従事してきた演者の二人が当時から現在に至るまでの様々な出来事を紹介させて頂く。

当高圧酸素室は、小型チャンバーのみの時代から、四肢血流不全および突発性難聴の治療に力を入れてきた。また、いずれの治療にも、神経ブロックによる血管拡張療法を併用し、上肢血流不全と突発性難聴には星状神経節ブロックまたは胸部交感神経焼灼術、下肢血流不全には硬膜外ブロックまたは腰部交感神経ブロックを併用して治療成績の向上に努め、300人以上の患者を治療してきた。

### <高気圧酸素治療室の主な活動>

- 昭和46年 第Ⅱ種チャンバー設置  
高気圧酸素治療室開設
- 昭和53年 第13回 日本高気圧環境・潜水医学会  
(会長 藤田達士)
- 平成8年 第31回 日本高気圧環境・潜水医学会  
(会長 木谷泰治)
- 平成27年 第50回 日本高気圧環境・潜水医学会  
(会長 齋藤 繁)

